

# ひろく

kafe

●一点を支点としてひろく●窓・扉を  
ひろく●道をひろく●回・目をひろく●  
花がひろく●運をひろく●文化を  
ひろく●インターネットをひろく●新  
聞・本をひろく●講座・会をひろく

—— 未来をひろく、心をひろく ——

特集・1

ひとりだってつながっている

特集・2

「ひとり」の味方



26

# 男女共同参画センター“ひらく”最近の動き

## センター便り・No.10



### カフェひらく 好評につき2度目の開店

昨年10月25日、小平元気村おがわ東で行われた「小平元気村ひろば2009」の中に、「1日だけの カフェひらく」が好評に応じて6月以来2度目の開店をしました。

来られたみなさんは、おいしいミルクティーとパンやケーキを味わいなが

ら、楽しいひとときを過ごされました。ミニピザや手作りビーズの販売も好評で、たくさんの出会いもありました。

「1日だけの カフェひらく」3度目の開店は、6月の参画週間です。

### 小平市女性のつどい 市民活動団体拡大交流会

昨年11月21日、小平市女性のつどい主催の「市民活動団体拡大交流会」が行われました。

西東京NPO推進センター「セブロス」の浜豆子さんが、市民活動団体・グル



ープの連携、協働について、話されました。その後、参加されたみなさんで意見交換があり、「つながる」ことが「地域が活きる」ことだと実感しました。

### 小平市自治基本条例が 昨年12月22日施行

昨年12月21日、小平市議会12月定例会において、小平市自治基本条例が可決され、翌22日に施行されました。この条例は、小平市における自治の基本原則を定めたものですが、第8条には「市民等及び市は、男女平等を基本とする男女共同参画社会の形成を推進するものとする。」とあります。自治基本条例に男女共同参画社会の形成の条項が盛り込まれている自治体は、全国的にも数少ないようです。

## アフガニスタンの女性と子どもを支援する ～RAWAと連帯する会～



▲2009年3月のパキスタン訪問では、ヘワド高校で国際女性デー(3月8日)を祝う会に招かれました。ダンス用に子どもたちが身につけた、カラフルな民族衣装が美しい。

米軍が増派され、国内の安定化が遠いアフガニスタン。ここで旧ソ連侵攻前の1977年から女性の権利を求め、自由と平和のために活動をしているRAWA(アフガニスタン女性革命協会)。「RAWAと連帯する会」はRAWAを支援しつつ、RAWAの闘いから困難に立ち向かう勇気と力を受け継ぎたいという思いで、2004年から主に大阪と東京で活動しています。RAWAのメンバーを招くスピーキングツアー、RAWAやアフガニスタンの様子を伝える集会の企画、RAWAが運営する学校の財政支援のほか、ニュースレターを発行したり、ホームページで広報も行っています。

また2004年以来5度、RAWAの活動拠点のパキスタンへ出かけ、アフガン難民キャンプや難民のための学校や孤児院、識字教室などを訪問しています。その度に、運営支援を続けているヘワド高校(小学生から高校生まで12年制の学校。ラワルピンディにあります)を訪ねて先生たちや子どもたちとの交流を続けています。

詳しい活動についてはこちらをご覧ください。

<http://rawa-japan.3005.net/>



▲国際女性デーのお祝いでおアフガニスタンを踊る高校生たち。



◀ヘワド高校で。授業が終わって家へ帰る準備をしていた低学年の女の子たち。難民は一般に経済的に苦しく、授業料が無料のRAWAの学校は子どもたちにも大人にも希望を与えている。

# ひらく

第26号  
平成22年3月発行

発行/小平市次世代育成青少年男女平等課  
☎042-346-9618 FAX 042-346-9200

企画・編集/男女共同参画推進実行委員会

広報誌『ひらく』部会

相京香代子 北川 紘二 笹 和紀

笹尾かをる 佐野 里美 谷原 裕子

藤澤 則子